

第8次拡張事業 第1期 (昭和60年度～平成2年度)

有収率向上による給水区域の拡大

全国における水道普及率が92.6%に達するとき、本市の普及率は80%程度でした。これまで幾多の拡張事業に取り組んできましたが、全国的にみればまだ低率であり、健康で文化的な市民生活の基盤である水、安全で安心できる上水道の整備は、行政上からも急務となっていました。

しかし、未普及地域解消を行うための新たな水源は容易に確保できません。そこで、これまで取り組んできた漏水調査・修理を更に精力的に取り組み、有収率を80%台に引き上げました。この結果、日量約2,000m³の水量が確保され、これを水源として昭和60年8月事業認可を受け、南波多町全域、黒川町東部・北部地区、波多津町南部地区、大川内町東部・西部地区への給水区域拡大をめざす第8次拡張事業を始めました。

これらの地域は標高が高かったり、浄水場からの距離があるため、送水ポンプ場11ヶ所、最小8.1m³から最大1,000m³の配水池11ヶ所を造りました。

漏水修理



VPφ100mmが防護不備により破損



VSジョイントφ100mmを使用し修理完了



南波多配水池



干潟配水池

第8次拡張事業 第2期 (平成元年度)

観光名所“秘窯の里・大川内山”に水道整備

大川内町西部の高所に位置し、本市最大の観光名所である大川内山は、伊万里焼の窯元が集まる秘窯の里として年々観光客も増加していました。しかし、生活用水を渓流水に依存していたため、降雨時や干ばつ等の対応が困難で、また衛生的にも安全とはいえない状況にありました。そこで、観光地における公衆衛生の確立、生活用水の安定確保を図るべく、第8次拡張事業で給水区域の拡張に取り組みました。



大川内山送水ポンプ場



大川内山配水池

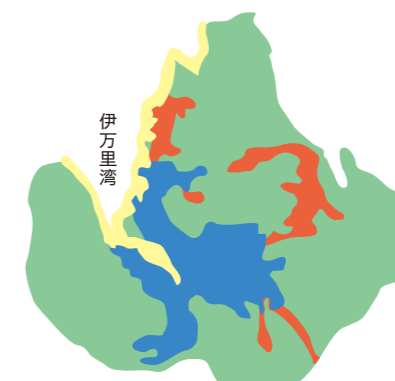


水墨画を思わせる景観の大川内山



修景整備も済んだ町並みは、訪れた人に落ち着きと和を感じさせる

- 伊万里市
- 伊万里湾岸
- 既存給水区域
- 拡張区域



第8次拡張

第8次拡張事業

計画給水人口	44,000人
計画1日最大配水量	22,000m ³
計画1日1人給水量	500ℓ
1期	
着工年月	昭和60年12月
竣工年月	平成3年3月
総事業費	2,024,393千円
2期	
着工年月	平成元年10月
竣工年月	平成2年3月
総事業費	112,447千円